

| | | |
|--|-----------------|---|
| 平成21年度 シラバス | 学年・期間・区分 | 3年次・後期・A群 |
| | 対象学科・専攻 | 情報工学科 |
| 確率・統計 (Probability & Statistics) | 担当教員 | 嶋根紀仁 (Shimane, Norihito) |
| | 教員室 | 一般科目棟 3 F (: 42-9047) |
| | E-Mail | shimane_kagoshima-ct.ac.jp (には@を入力) |
| 教育形態 / 単位の種別 / 単位数 | 講義 / 履修単位 / 1単位 | |
| 週あたりの学習時間と回数 | 授業 (100分) × 15回 | |
| 〔本科目の目標〕 (1) 確率に関する基本的な概念や法則について理解を深める (2) 統計的な見方や考え方に関する能力を養う | | |
| 〔本科目の位置付け〕 (1) 数学基礎 , , 微積分学 , で学んだ内容を前提とする (2) 確率・統計は工学全般, 経済学, 社会学などの分野において必須なものと位置づけられる | | |
| 〔学習上の留意点〕 十分に復習をすること | | |
| 〔授業の内容〕 | | |
| 授 業 項 目 | 時限数 | 授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標 |
| 1. 確率 中間試験 | 15 | 確率の定義や性質を理解し、基本的な問題が解ける 事象の独立や条件つき確率の概念を理解し、基本的な問題が解ける 授業項目1について達成度を確認する |
| 2. データの整理 | 5 | 1次元のデータについて平均、分散、標準偏差を求めることができる 2次元のデータについて相関係数や回帰直線の方程式を求めることができる |
| 3. 確率変数と確率分布 期末試験 試験答案の返却・解説 | 10 | 与えられた確率分布の平均、分散、標準偏差を求めることができる 正規分布表を利用して確率を求めることができる 授業項目2, 3について達成度を確認する 各試験において間違った部分を理解できる |
| 〔教科書〕新訂 確率統計 斎藤 斉 他 大日本図書 | | |
| 〔参考書・補助教材〕 | | |
| 〔成績評価の基準〕中間・期末試験 (70%) + {問題演習 - (授業態度 + 欠席状況)} (30%) | | |
| 〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 3-a | | |
| 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 | | |
| 〔JABEEとの関連〕 | | |